

## 「まちなかの暑さ対策ガイドライン」の紹介

「まちなかの暑さ対策ガイドライン」（環境省、平成30年3月改定）は、まちなかの暑さ対策を推進することを目的として策定されたものです。

気候変動やヒートアイランド現象の影響により、年々、夏の暑さは厳しさを増しており、今後も気温上昇は続く予想されています。

本ガイドラインでは、人が感じる暑さについての基礎知識のほか、日射を防ぎ、水・緑・風などの自然の力を生かして暑さをコントロールする手法を中心に、効果的な暑さ対策や関連する技術的な情報等が紹介されています。ぜひご活用ください。

### ～「まちなかの暑さ対策ガイドライン」の構成～

#### <第1部 基礎編> 対象：行政やまちづくりに関わる一般の方

体感温度やまちなかの暑さに関する基礎知識、暑さ対策に関するポイントが紹介されています。

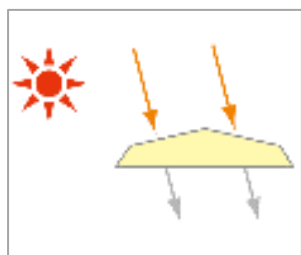


街路沿いのクールスポット  
(東京都中央区)

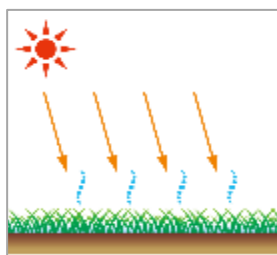
#### <第2部 対策編> 対象：まちづくりに関わる一般の方、対策を実施する実務者の方

暑さ対策の基本的な考え方や、それぞれの暑さ対策を選定する際の確認事項等が紹介されています。

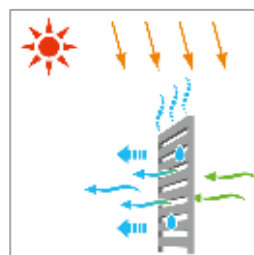
##### 《暑さ対策の例（イメージ）》



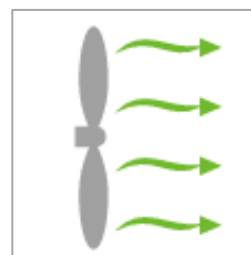
[人工日除け]



[地表面の緑化]



[壁面等の保水化・親水化]



[送風ファン]

#### <第3部 技術情報編> 対象：施設設計や外構設計等の実務者の方

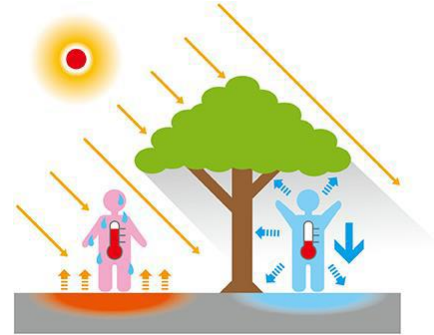
標準有効温度（SET）や湿球黒球温度（WBGT）などの指標を用いた体感温度の定量的な把握方法、シミュレーションによる、まちなかにおける体感温度の面的な分布や暑さ対策の効果予測方法などが紹介されています。

## ■「まちなかの暑さ対策ガイドライン（改定版）」目次

### 第1部 基礎編

第1章 まちなかの暑さと暑熱ストレス	5
1.1 人が感じる暑さ	5
1.2 まちなかの暑さと涼しさ	6
1.3 夏の暑さと暑熱ストレス	9
第2章 まちなかの暑さ対策	11
2.1 まちなかに求められる暑さ対策	11
2.2 暑さ対策のポイント	12
2.3 暑さ対策の事例	14
2.4 暑さ対策による効果	20
2.5 暑さ対策の進め方	22

暑さや体感温度に関する基本的な知識、暑さ対策のポイントが紹介されています。



### 第2部 対策編

第3章 暑さ対策技術	25
3.1 暑さ対策技術の概要	25
3.2 暑さ対策技術シート	27
1 樹木・藤棚等による緑陰	29
2 人工日除け	31
3 窓面等の再帰反射化	34
4 地表面等の保水化	36
5 地表面等の遮熱化	40
6 地表面等の緑化	43
7 壁面等の緑化	45
8 壁面等の保水化・親水化（冷却ルーバー等）	48
9 微細ミスト	51
10 送風ファン	55
11 冷却ベンチ	57
第4章 対策技術選定の際の確認事項等	59

暑さ対策技術の種類とその概要、効果、導入の際の留意事項などの情報が紹介されています。



### 第3部 技術情報編

第5章 体感温度の把握	67
5.1 体感温度指標	67
5.2 実測等による把握方法	69
5.3 シミュレーションによる把握方法	74
第6章 体感温度による対策効果の把握	75

まちなかの暑さの把握方法や対策効果の評価方法等、効果的な暑さ対策に必要な技術情報等が紹介されています。

※本ガイドラインでは、主に屋外・半屋外において、水や緑などの自然の力を活用した暑さ対策を追加的に導入することにより、局所的に人が感じる暑さを和らげる対策を中心に紹介されています。暑さ緩和のための都市づくりにおける計画・設計段階での配慮事項等については、他のガイドライン等をご参照ください。

※ガイドライン：環境省 HP [http://www.env.go.jp/air/life/heat\\_island/guidelineH30.html](http://www.env.go.jp/air/life/heat_island/guidelineH30.html)